

会場の質疑応答(事後の追記も含む)

Q1 新校舎にはどんな特別教室・設備ができますか？

A 授業で使用する特別教室としては理科室・技術室・多目的室があります。音楽室・美術室・被服室・調理室・図書室は高校にある教室を共用することになります。

Q2 教える教員について、高校の教員が中学で指導したり中学校の教員が高校で指導したりすることは想定していますか。

A 附属中学校には、小学校・中学校・高等学校の教員のうち、中学校免許をもった教員が配置される予定であり、基本的にはその教員が中学校で教えることとなります。ただし、中高一貫校のため、ご質問にあるように一部教科では西尾高校の教員が附属中学校で指導したり、附属中学校の教員が西尾高校で指導したりすることは想定されます。

Q3 登録費・受験料等でIBのディプロマ資格の取得にかかる費用はどれくらいですか。

A 資格取得までは教材費や受験料等がかかります。教材費については、まだ授業の内容について決まっていないためお示しできませんが、受験料については下記の文部科学省IBコンソーシアムの資料をご参照ください。

https://ibconsortium.mext.go.jp/wp-content/uploads/2024/02/step_pdf_02.pdf

Q4 国際コースDP資格取得にはどの程度の英語力が必要ですか？

A 先進校の様子では、かなり高いレベルが要求されるようです。ただ、中学校入学（MYP入学時）の時点では英語力は問いません。ただし、高校でディプロマ資格認定まで目指す場合はかなり努力が必要になります。

Q5 靴は自由とのことでしたが、体育服はどうですか？

A 西尾高校と同様のものになる予定です。

Q6 新体育館の設備はどのようなものがありますか。

A 広さはバスケットボールコート1面くらいです。設備としてはバスケットゴールは6つあります。他にはバレーボール1面弱とバドミントン3面分程度の支柱が立てられるようになっています。また、冷暖房完備です。

Q7 親の活動、つまりPTAはありますか？

A 今年度5月の西尾高校PTA総会で会則を変更しました。附属中PTAは別に設けるのではなく、西尾高校PTAの中の一つの組織として附属中学校委員会という部門を立ち上げます。

Q8 探究ゼミのイメージ図に「3学年混合」との言葉がありました。初年度は1年生だけですが、どのように他学年交流をすることになりますか。

A 一期生については上級生がいないので、探究ゼミで来年度は他学年との交流が叶わないことが多いです。しかし、西尾高校生徒会執行部が申しました通り、高校生に中学生の探究活動の発表に来てアドバイスしてもらったり、逆に中学生が高校生の探究活動を見に行ったりすることは可能だと思います。そういった活動を通して、2、3年生になるころには、下級生にアドバイスするスキルを身につけ、上級生として探究ゼミで活躍してもらいます。探究ゼミでは、下級生の視点を得ることも大切な経験になると思います。

Q9 初年度入学時に2、3年生がいないことで他のデメリットや問題はありますか？

A 体育祭などの行事・生徒会の活動をどうしていくかということは初年度の課題ですが、生徒と教師が一緒になって考えていくことになります。委員会活動は高校と合同になることもあり得ます。初年度80名しかいないことにご心配はあるでしょうが、逆に一期生にしかできないこともたくさんありますので、それを大切にしながらやっていきたいと考えています。

Q10 上の子が西尾高校出身で、雨が降るたびにグラウンド状況が悪くなると聞いています。今後整備の予定はありますか。

A 今のところは予定はありませんが、今後も県教委に要望を出していきたいと思っています。

Q11 英語の先生はネイティブスピーカーの外国人ですか？ 日本人ですか？

A 英語の教員は日本人が配置される予定ですが、ALTはネイティブの方です。
また、年間30時間のGCP（グローバルコンピテンスプログラム）という、グローバル社会で活躍するための資質・能力を育むプログラムの導入を予定しています。この授業は、原則英語で行い、講師はネイティブの方が務めます。